

オックスブリッジ研修を振り返って

尾崎 雅仁

※ここから書くことは、私の失敗と面白かったこと。重要なことは全て書ききれていません。

●参加の動機

実を言うと、私がオックスブリッジ研修に参加しようと決意した大本の理由は、自分の知的好奇心がそそられたからだ。旅行が好きだが海外に行ったことがなかった、ということもある。世界的に優秀な学生と交流してみたいと思い、私は強い興味を持った。

ただ、研修が近づくに連れて私は2つの目的をこの研修に見出した。それは、自分の短所を直していくことと自分の将来像を探すことだ。短所とは、自分は恥ずかしがり屋で極力目立つことを避けること。たったこの数日だけで完全に克服できそうもないが、英語でしか通じない気まずそうな空間に身を置くことになるので多少は改善されるはずだ。将来像も何らかのヒントを得たいと考えた。



●研修

<1日目>

初めての海外。私は、入国審査の質問を内心楽しみにしていた。だが、ツアーということもあり、“Are you happy?”というあまりにも簡単な質問しかされなかったので逆に面食らった。返答はもちろん“Yes, of course!” 入国直後、ヒースロー空港で私たちを迎えてくれたのはガタピシ音を立てるエスカレーター。

寮に着き、その後周辺散策となった。地元のスーパーに行き、皆がたくさんの水を買ったが、自分も水を持ってきたのにつられて買ってしまう。ここで私は重大なミスに気づく。「金が古い！」私は便利なように10ポンド札や5ポンド札ばかりを持ってきたのだがそれが逆に仇となった。それらのお金はすべて古くて使えなかった。幸い50ポンド札があったので、そのあとの数日は何とかもった。お金の新旧はホント要注意!! 買ってというホントよかった~と思うが買いすぎに注意!(後に大量の水で苦しめられた。)

飛行機内でほとんど寝なかったため、寮ではとてもよく寝られた。自分は少し特殊で、平日9時間近く睡眠時間を確保(→平日勉強時間0)しているため、時差ボケというより、睡眠時間の少なさにやられた。この日の寮での睡眠時間はa.m.0:00~7:00の7時間程度。

<2日目>



今日はオックスフォード大学のキャンパスツアーと紅林氏の講義。朝は早速寝坊しそうになった。目覚まし時計は1つでは危険だった。(後日アラームを2つかけるようにした。)

キャンパスツアーの詳しいことは行ってみてのお楽しみ。建物の美しさ、壮大な眺めなどは言葉ではとても表すことができないので是非実際に行って見て、体感してもらいたい。

私は、紅林氏の講義がとても印象に残っているのでこれについて紹介したい。「自分が自分に甘いのであれば、自分が岐路に立たされた時に、チャンスをもにものにする為、敢えて難しい方を選択してみる」この考え方は、私が最も共感し実践していきたいと思ったものだ。是非、この時の新鮮な気持ちを忘れないようにしていきたい。

<3日目>

今日はケンブリッジ大学のサイエンスフェスタ。オックスフォード大学と肩を並べる超有名大学なので比較しつつ見ていきたいものだ。到着して最初、街はずれのトイレへ。自分は無用だったので使わなかったが、使った人によると強烈だったらしい。その後、街の中心のショッピングモールで昼食。結構新しくきれいだったが、一部エスカレーターが壊れて通行止めに。初めて修理しているところを見た。まあ、空港での扱いを思えば納得いく。

店を出ると、目についたのは、日本語の看板。だが、これを見て誰しもが感じたように私も非常に

違和感を覚えた。なんだ？しかも同じ店をその近くでもう 1 件見た。何を言いたいのか謎で面白かった。海外に来たなと改めて感じた。

(その後の班別行動は割愛、印象的だったことは以上。建物の様子などはオックスフォードと同様、実際見てくるに越したことはないので敢えて書きません。)

帰ってからは、反省会をした。できればしたくはなかったが、反省点を洗い出すことができた。

<4日目>

今日は朝食で折り紙をした。私の思っていた以上に学生の方が反応してくれて嬉しかった。昨日の反省会で、せっかく持ってきたのだしやるしかないと思えたので、行動に移せたのがとてもよかった。

今日の日程はオックスフォードの街中の散策、海外留学生とのディスカッション。(街中の散策は割愛) 海外留学生とのディスカッションでは、とても気になっていた疑問、なぜケンブリッジ大学を選ばずにオックスフォード大学を選んだのか。尋ねたところ、日本人留学生から逆に聞き返され、振り返りにあった。なぜ高高を選ばず前高か？—太田に住んでいるから—なぜ太高を選ばず前高か？—前高は県で一位だから—私も世界で一位だから...。下手に質問するものじゃないと思った。いい経験をした。

<5日目>

今日はプレゼン準備。準備の合間を縫って銀行でお金を新しいものに代えさせてもらった。付き添ってくれた学生方には、本当に感謝だ。(プレゼンの内容は割愛)

夕食後に最後のクリス先生の講義があった。先生には 2 日目から親切にも毎晩講義をしていただいたのもあり、最後は少し寂しい気持ちがあった。この研修記録には、多く載せられなかったが、ほかの人のものを参考にさせていただきたい。

<6日目>~<8日目>

ロンドン観光など。UCLといったとても有名な大学などが見学でき、とても刺激的な体感ができた。量の問題で割愛させてください。ちなみに自然史博物館でも巨大なエスカレーターが壊れていました。

●まとめ

今回の研修は私を少し変えられた気がする。今までは何か困難な課題に直面した時、そのことの打開よりもどう免れるかの方を先に考えてしまっていたが、今では考え方が変わった。また、将来の夢を持つときのヒントなども教えてもらうことができた。最後に、この研修を支えてくださった、引率の加藤先生、ISAの方には本当に感謝しています。

これを読んで下さった諸君、迷ったら応募しよう。絶対に損はしない。本当に大切なことはこの報告書では書き尽くせていない。だから、実際に自分で行って、見て、体感してくれ。私のように、応募してみることで新たな目的意識を持ち自分を変える良い機会になるはずだ。

以上をもって、私の報告書とさせていただきます。ありがとうございました。

